

## 4年ぶりにグアナファト州の高校生がマツダミュージアムを見学しました ～けん玉体験で交流促進～

広島県のグアナファト州青少年交流事業として、8月2日(水)から8月8日(火)まで、グアナファト州の高校生10名と引率者2名が広島を訪問しました。

当事業は、広島県内の高校生との相互派遣として行われており、今回は4年ぶりに広島訪問が実現しました。従来3名ほどの派遣から、今回は交流の拡大を目指し、大幅な増員が図られました。

また広島においては、継続して在外県人会後継者育成支援事業で来広する海外の広島県人会関係者と同じプログラムでの受け入れがこれまで通り実施されています。

8月4日(金)には、グアナファト州高校生と在外県人会後継者が昨年リニューアルされたマツダミュージアムを見学しました。マツダ様の歴史や技術力に触れ、大変興味深く見学をしていました。



マツダミュージアム見学後、グアナファト州の高校生と引率者

続いて行われた昼食会では、広島県廿日市市を発祥とするけん玉を当親善協会より記念品として全員にプレゼントしました。廿日市市の(株)砂原夢企画の代表でけん玉名人の砂原宏幸さんをお招きし、数々の技を披露し、また軽妙な話術で会場を盛り上げていただきました。皆、けん玉に夢中になり、けん玉体験が交流促進に一役買っていました。



けん玉名人 砂原さん（右）と通訳を務めた広島県国際交流員 ダニエルさん（左）



砂原さんの指導で、けん玉体験中の様子



昼食会・けん玉体験の最後に集合写真を撮影